

# 池袋副都心移動システム (IKEBUS)

## 事業評価シート

豊島区 都市整備部

評価期間：令和元年度～令和4年12月

令和5年1月31日

## 【評価結果のまとめ】

### 1) 事業コンセプト

- ① 池袋副都心におけるLRT構想、ルートを見据えた移動システム
- ② 単なる移動手段ではなく、まちの魅力や価値を高める装置
- ③ インバウンドなどの観光客の回遊性を確保

### 2) 事業の目的

豊島区では、東アジア文化都市、オリンピック・パラリンピックを見据え、来街者や交通弱者にやさしく環境に配慮した電気バスによる新たな移動システム「IKEBUS」の「貸切運行」を令和元年11月1日から、「乗合運行」を11月27日から運行を開始しました。本システムは単なる移動手段ではなく、豊島区の魅力を引き上げる装置として整備しました。池袋駅周辺においては、4つの公園を基本とした回遊ルートを運行しています。また、他の地域においてもIKEBUSを活用したまちづくりを積極的に展開し、豊島区全体の価値を高めることを目的としています。

### 3) 運営体制

- ① 豊島区  
車両の無償提供、デザインコントロール（ドーンデザイン研究所）、事業費負担
- ② WILLER(株)  
乗合・貸切事業の運行・運営、企画事業の企画・運営、PR・情報発信、サポーターとの連携
- ③ (一社)としまアートカルチャーまちづくり協議会  
貸切事業の企画・運営、グッズ販売

### 4) 評価と達成状況

#### ① 池袋副都心におけるLRT構想、ルートを見据えた移動システム

指標		評価値		達成状況要因
1	利用者数(A・Bルート) (H31.11~R4.12)	(平日) 246人/日	(休日) 520人/日	休日は平日比2倍以上の乗客数となっている。 運行開始時から安定して乗客数は伸びている。
2	事業収支	区歳出総額※ (うち補助金)	<b>959,173</b> 千円 (184,093千円)	(※区歳出総額:運行収支への補填 + 車両等経費)
	①運行運営費 (R1~R3年度)	運行経費等	413,427千円	運賃改訂にて一律料金(1回乗車100円)後も収入は横ばい。 歳出は2年連続で低下している。
		運賃収入等	110,860千円	
②車両購入等経費 (H29~R3年度)	運行収支 (収支率)	▲302,567千円 (26.8%)		車両の部品等消耗品交換費用などが継続的に発生する。
3	ルート	既存の公共交通では体験できない回遊を実現した		池袋駅周辺エリアの賑わい拠点を繋ぎ、最高時速19km/hでの回遊を実現。
		池袋の課題であった池袋駅の東西をつなぎ回遊性を高めた		小さな車体を生かし、既存バスでは実現出来なかったルート設定での東西循環ルートが実現。



## ② 単なる移動手段ではなく、まちの魅力や価値を高める装置

指標	単位	評価値		達成状況要因
1	知名度	円	(広告換算費総計) ¥660,117,720 (評価時期) R4.12末時点	オリジナルかつ魅力的なデザインから注目度が高く、あらゆるジャンルのメディアへ露出、積極的な協力・連携により多様な世代へ認知を広げた。
2	魅力度	-	これまで体験できなかった豊島区の魅力を発信した	アトカルツアーや保育園児等の体験ツアーを数多く実施し、多くの参加者に池袋の魅力伝えた。
		%	64.0 (評価時期) 利用者・Webアンケート	Only1の交通システムを構築できたことがバスの魅力に直結した。また、池袋駅周辺の4つの公園や周辺の再開発などと共にまち全体の魅力を引き上げている。
3	協働のまちづくり	-	多くの企業者との協働により池袋駅周辺のまちづくりに貢献した	地元企業を中心に26社のサポーター企業等から運行の支援を受けるとともに、協働で様々なイベントを実施。また、地元企業、大学、地域とも連携事業を実施。



番組「ゴーゴー！のりものタウン」



保育園児への体験事業



有名タレントと連携



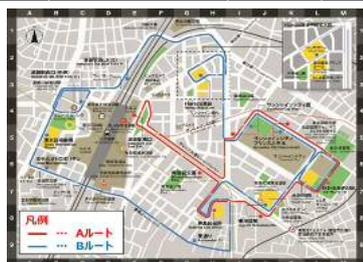
式典などへの活用



サポーター契約

## ③ インバウンドなどの観光客の回遊性を確保

指標	単位	評価値		達成状況要因
1	回遊サポート・促進	-	誰もが安全・安心に池袋のまちを安全に回遊することが可能となった	池袋駅東西をむすび、駅周辺の4つの公園(池袋西口公園、中池袋公園、南池袋公園、としまみどりの防災公園)や魅力的な拠点施設を循環することで、池袋の利便性や回遊性を高めた。
		-	様々な媒体を駆使し、情報発信することで回遊をサポートした	メディア媒体はもちろんのこと、Twitter、IKEBUS情報誌「IKENAVI」の発刊を通し、多くの人の目に留まるよう、「回遊サポート・促進」に努めた。
2	満足度	%	78.0 (評価時期) 利用者・Webアンケート	価格やルート改訂を経て、概ね8割近いの乗客の満足度が得られている。



2ルートによる回遊を実現



IKEBUS情報誌の発刊



イケちゃんTwitter

## 5) 今後の方針

### 収支等の目標

- ◆ 事業全体(乗合・貸切共)の利用者増加と新たな収入源を確保を目指すと共に、効率的な運営を試み、事業収支の改善を図る。
- ◆ 路線運行の利用者数について、季節や平日休日での差を改善し、安定的に「500人/日=約15,000人/月」を目指す。

### まちの魅力を向上するため

- ◆ 新たな開発等のまちの変化、「利用実態」や「利用者アンケート」等に応じた、柔軟なルート検討
- ◆ サポーター企業との連携強化
- ◆ 事業PRや情報発信の充実

### PDCAによる事業・評価の進め方

- ◆ 定期的な事業評価を実施し、ルートや施策の効果を振り返る
- ◆ 振り返りにより「目標」の再設定や「施策の見直し」を検討する